

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス メープルリーフ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月13日	～	令和8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18家庭	(回答者数) 11家庭
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日 ～ 令和8年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 ○こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。  【適切な支援の提供】※保護者の評価表集計シート 6・7	・個別支援計画は支援を行う上での要であり、その内容が十分に整理されていなければ、より良い支援には結びつかないと考えている。そのため、アセスメントを丁寧に行うことを重視し、チームとして子ども一人ひとりの状況を共有しながら支援を行うことを意識している。 ・令和7年度からは支援プログラムを実施しており、個別支援計画に加えて実施計画書を作成することで、苦手な部分に焦点を当てた、より具体的な支援計画の作成につなげている。 ・今後もアセスメントの力をさらに高め、計画の作成に十分に反映させるとともに、計画に基づいた支援の実施に努めていきたい。	・個別支援計画の作成にあたっては、丁寧なアセスメントを実施し、子どもの日々の状態変化を踏まえながら、「5領域」を意識した計画立案を行っている。固定化された計画とならないよう、日々の様子に応じた柔軟な見直しを行い、短期目標・長期目標に基づいた支援の構築を図ることで、個性の高い支援提供に努めていく。 ・日誌の記録については、個別支援計画に基づいた内容での記載を徹底し、職員一人ひとりが各児童の目標に着目しながら支援にあたることができるよう、仕組みづくりを進めていく。また、児童発達管理責任者だけでなく、職員からの意見も積極的に取り入れ、支援の質の向上を図る。
2	○こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 ○定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 ○個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。  【保護者への説明等】※保護者の評価表集計シート 20・21・22	・保護者とのコミュニケーションについては、引き継ぎ時に利用中の様子を丁寧にお伝えし、安心して通所いただけるよう心掛けている。また、その際に家庭や学校での様子も共有していただき、リアルタイムな情報をもとに翌日の支援へ反映できるよう努めている。さらに、家庭での困りごとについても伺い、解決に向けて相談できる機会を設けている。 ・些細なことでも気軽に事業所へご相談いただけるようお伝えし、開かれた放課後等デイサービスの運営を目指している。個別情報の取り扱いについては、職員全体で重要性を認識し、適切に管理するよう十分に留意している。	・次年度以降も、引き継ぎの時間を大切にしながら、面談時に限らず保護者と関わる機会を継続的に確保し、日頃から支援に関する情報共有や意見交換を行っていく。また、家庭内での困りごとについても気軽に相談できるような雰囲気づくりに努める。 ・意思決定支援については重要な事項であることを踏まえ、保護者の意見を尊重するとともに、子ども本人の意向も丁寧に汲み取りながら、全体の意向を確認し、支援に反映できるよう努める。 ・通信については毎年好評を得ており、その評価が職員のやりがいや励みにもつながっていることから、今後も継続していきたい。
3	○こどもは安心感をもって通所していますか。 ○こどもは通所を楽しみにしていますか。 ○事業所の支援に満足していますか。  【満足度】※保護者の評価表集計シート 27・28・29	・子どもたちが通所を楽しみにできることは非常に重要であり、最も大切にすべき点であると考えている。そのため、活動がマンネリ化しないよう、内容の工夫や多様な四季に応じたプログラムの提供を検討している。子どもたちの楽しさを優先することはもちろん、職員も一体となって楽しめる活動づくりを意識し、実施している。 ・令和7年度より支援プログラムの充実化を図り、休日に限らず平日においても計画的な支援を実施している。個々の課題に応じたプログラムを準備し、適切な支援提供に努めている。 ・満足度については例年高い評価をいただいているが、現状に満足することなく、より質の高い活動提供ができるよう、今後も継続して検討・改善を図ってまいります。	・平日においては小集団での活動プログラムの提供が実施出来ていたが、個別に着目する時間が短かったことから、個別のプログラムについても強化していきたい。引き続き、専門的支援員(保育士)の指導のもと実施し、子どもたちがより楽しみながら主体的に取り組めるよう内容の充実を図ってきたい。 ・休日においては、家庭内では経験することが難しい非日常的な体験活動を計画的に設定し、目的を持ったプログラムの提供を行っていく。あわせて、四季に応じた活動や年齢層に合わせた活動、販売会体験等を実施するとともに、子どもたちの意向を取り入れたプログラムづくりにも努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>○放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。</p> <p>【適切な支援の提供】※保護者の評価表集計シート 11</p>	<p>・学童や地域の子どもたちとの関わりについては、現状として機会が少ないと認識している。地域的には交流の機会を持つことは可能である一方で、学童保育においては日々の支援で多忙な状況でもあることが想定される。</p> <p>・放課後等デイサービス同士の交流についてはこれまでに1回実施しており、次年度は複数回の実施を目指していく。また、地域の子ども食堂との関わりについても、交流の機会を持てるよう検討及び実施していく。</p>	<p>・地域の子どもたちとの交流については現状限られているため、課題として認識し、模索しながら交流機会の創出及び課題解決に向けて取り組んでいく。</p> <p>・また、日頃から地域との関わりを意識し、横のつながりを大切にしながら、活動プログラムの充実や支援の質向上に生かしていくことを目指す。</p>
2	<p>○地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。</p> <p>○就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。</p> <p>【関係機関や保護者との連携】※事業者用自己評価シート 27・29</p>	<p>・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携については、十分とは言えない状況であると認識している。現状では、各機関との関わりが個別的なやり取りにとどまり、横断的な連携が構築されていないことが課題であると感じている。</p> <p>・また、就学前の情報についても、通園センターの利用歴に関する情報に限られており、アセスメントを行う上で十分な情報が得られていない状況にある。（保育園や幼稚園の情報がほとんどない）</p> <p>・今後は、関係機関との連携体制の構築や情報共有の機会の創出に向けて積極的に関与し、事業所としても協力体制を強化していきたい。</p>	<p>・必要に応じて事業所側から主体的にアプローチを行い、個々の課題に応じた解決に向けて、より適切な方向性で支援に取り組んでいく。</p> <p>・個別情報の取り扱いに留意しつつ、関係機関との連携強化を図り、円滑な情報共有が行える体制づくりに努める。</p> <p>・計画相談支援を担当する職員との適切な連携を基盤とし、児童一人ひとりに応じた支援および生活面でのサポートの充実を図っていく。</p>
3	<p>○事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。</p> <p>○業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。</p> <p>○安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。</p> <p>○子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。</p> <p>【非常時等の対応】※事業者用自己評価シート 46・47・50・51</p>	<p>・各種計画が策定されたままとなり、その後の運用や見直しが行われていない点を課題として認識している。計画の作成にとどまらず、作成後の説明や職員への周知、訓練の実施まで含めた運用体制の強化が必要である。</p> <p>・BCPについては重要性を認識しているが、本体施設に任せられている部分があるため、今後は本体施設と共通理解を図りながら、主体的に取り組める体制づくりを進めていく。</p> <p>・避難訓練については、役場内で実施される訓練の時間帯の関係から参加が難しい場合もあるため、年1回以上の自主訓練を計画・実施し、実効性のある防災体制の確保に努めていきたいと感じている。</p> <p>・虐待防止委員会の運営に加え、事故報告の徹底およびヒヤリハットの作成とその重要性について職員間で共有・検討を行い、軽微な事故の未然防止に努める。また、支援において注目すべき観点について統一した認識を持ち、職員全体で質の高い支援に取り組んでいきたい。</p>	<p>・各種計画については作成にとどまらず、実効性を高めるための説明や訓練を実施し、運用面の強化を図る。また、BCPについてもサービス単位で内容の見直しを行い、安全計画についても現状に即した内容へ適宜更新していく。</p> <p>・避難訓練については、自主的な訓練の実施も含め、活動プログラムの一環として計画的に取り入れていくことを検討する。</p> <p>・あわせて、職員一人ひとりが安全計画を意識した行動が取れるよう、意識向上と実践につながる体制づくりに取り組んでいく。</p> <p>・家族に対しても安全計画の説明を適切に行い、安心して事業所に通所できるよう、管理体制の整備を図っていく。</p>